

## 安全データシート

### 酸化マグネシウム

作成年月日：2026年4月1日

#### 1. 化学品及び会社概要

化学品等の名称	酸化マグネシウム
供給者の会社名	コーキン化学株式会社
住所	大阪府東大阪市中石切町3-7-49
電話番号	072-988-2300
FAX番号	072-988-2506
電子メールアドレス	yakuji@kohkin.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	飼料添加物

#### 2. 危険有害性の要約

##### GHS分類

物理化学的危険性	—	
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分2 区分3（気道刺激性）
環境に対する有害性	—	

##### ラベル要素

##### 絵表示



注意喚起語	警告
危険有害性情報	強い眼刺激 呼吸器への刺激のおそれ
注意書き	<p><b>【安全対策】</b>                      取扱い後はよく手を洗うこと。                      粉じん、煙、ガス、蒸気、スプレーを吸入しないこと。                      屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。                      保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護マスクを着用すること。</p> <p><b>【応急措置】</b>                      眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。                      眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。</p>

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は医師に連絡すること。

**【保管】**

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
施錠して保管すること。

**【廃棄】**

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

**3. 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	酸化マグネシウム (Magnesium oxide)
別名	ボウ硝
濃度又は濃度範囲	96%以上
化学式 (分子量)	MgO (40.304)
化学特性 (示性式又は構造式)	$Mg^{2+} O^{2-}$
CAS登録番号 (CAS RN)	1309-48-4
官報公示整理番号(化審法)	1-465
官報公示整理番号(安衛法)	—
化管法指定化学物質の種別	—
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	情報なし

**4. 応急措置**

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 症状が続く場合には、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	大量の水で洗うこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
眼に入った場合	水で15～20分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	水で口をすすぎ、直ちに医師の診断を受けること。
急性症状及び遅発性症状 の最も重要な徴候症状	データなし
応急措置をする者の保護 に必要な注意情報	救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。
医師に対する特別注意事項	情報なし

## 5. 火災時の措置

適切な消火剤	周辺火災に応じて水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。
使ってはならない消火剤	火災が周辺に広がる恐れがあるため、直接の棒状注水を避ける。
火災時の特有の危険有害性	毒性の強い分解生成物が発生する可能性がある。
特有の消火方法	消火活動は風上から行う。 火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	自給式呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 個人用保護具: 空気中濃度に応じた粒子用フィルター付マスク。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 こぼれた物質を容器内に掃き入れる。湿らせてもよい場合は、粉塵を避けるために湿らせてから掃き入れる。
二次災害の防止策	情報なし

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、必要に応じて保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 粉塵の拡散を防ぐこと。 容器を密閉しておくこと。
接触回避	ハロゲンを含む物質及び強酸との接触禁止。
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
保管	
安全な保管条件	直射日光を避け、換気のよい涼しい場所に密閉保管すること。 保管場所には危険・有害物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な照明及び換気の設備を設けること。 強酸から離しておくこと。
安全な容器包装材料	破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用すること。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	未設定
許容濃度	
ACGIH	TLV-TWA: 10 mg/m <sup>3</sup>
日本産業衛生学会	(吸入性粉じん) 2 mg/m <sup>3</sup> (総粉じん) 8 mg/m <sup>3</sup> (第3種粉じん：その他の無機及び有機粉じん)
設備対策	粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。
保護具	
呼吸器の保護具	粉じんが発生する場合、必要に応じて保護マスクや呼吸用保護具を着用する。
手の保護具	手に接触する恐れがある場合、保護手袋を着用する。
眼の保護具	眼に入る恐れがある場合、保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて保護衣、保護エプロン等を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态：物理状態	固体 (20°C, 1気圧)
：色	白色
：臭い	無臭
融点・凝固点	2,800°C (ICSC (2010))
沸点又は初留点及び沸騰範囲	3,600°C (ICSC (2010))
可燃性	不燃性固体 (HSDB (2015))
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	不燃性 (ICSC (2010))
自然発火点	不燃性 (ICSC (2010))
分解温度	データなし
pH	10.3 (20°C, 飽和溶液) (GESTIS (2015))
動粘性率	該当しない
溶解度	水に微溶 (ICSC (2010)) 酸及びアンモニウム塩溶液に可溶。エタノールに不溶 (HSDB (2015))
n-オクタノール/水分配係数	データなし
蒸気圧	0 mmHg (20°C) (NITE (2015))
密度及び／又は相対密度	最小値3.2 最大値3.75 (Webkis-Plus (2015))
相対ガス密度	該当しない
粒子特性	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	不燃性
化学的安定性	情報なし
危険有害反応可能性	加熱時にアルミニウム粉末、過塩素酸アニリン、マグネシウム粉末、硫黄との接触により爆発が生じる危険性がある。 アンモニア、強酸、五フッ化臭素、三フッ化塩素、五塩化リンと危険な反応を生じる。 五塩化リンとの反応は白熱化を伴う。 ハロゲンを含む物質との接触は危険な反応又は発火を生じる。
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	加熱時にアルミニウム粉末、過塩素酸アニリン、マグネシウム粉末、硫黄との接触により爆発が生じる危険性がある。 アンモニア、強酸、五フッ化臭素、三フッ化塩素、五塩化リンと危険な反応を生じる。 五塩化リンとの反応は白熱化を伴う。 ハロゲンを含む物質との接触は危険な反応又は発火を生じる。
危険有害な分解生成物	データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性	
経口	ラットのLD <sub>50</sub> 3,870 mg/kg (雄)、3,990 mg/kg (雌) との報告 (HSDB (2015)) に基づき、区分に該当しない。
経皮	データ不足のため分類できない。
吸入：ガス	GHSの定義における固体であるので、区分に該当しない。
吸入：蒸気	GHSの定義における固体であるので、区分に該当しない。
吸入：粉じん、ミスト	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	本物質のダスト（濃度不明）にばく露された95名の作業者に軽度の眼刺激性がみられたとの記載 (ACGIH (7th, 2003) から、「区分2」とした。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。すなわち、in vivoのデータはない。in vitroでは細菌を用いた復帰突然変異試験で陰性の報告がある (ACGIH (7th, 2003)、HSDB (2015))。
発がん性	ヒトでは職業的な本物質を含む複合ばく露により、複数臓器にがんの過剰発生が生じ、本物質ばく露による特異的な腫瘍発生は標準化罹患比 (SIR) に基づき、口唇がん、胃がん、肺がんであると報告されたが、症例数が少ないこと、酸化マグネシウムへのばく露レベル及びばく露期間

が不明で、結果の解釈には限度があると記述されている (ACGIH (7th, 2003))。また、ヒトで酸化マグネシウムのダスト、又はヒュームへの吸入経路による発がん性の証拠はなく、過去に溶接工で示唆された肺がん発生率の増加は酸化マグネシウムではなく、6価クロムばく露による可能性が指摘されている (DFGOT vol. 2 (1991))。

実験動物ではハムスターに本物質2mg/週を30週間気管内注入後、100週間まで観察した結果、組織球性リンパ腫が増加した (ACGIH (7th, 2003)) との記述があるが、標準的なガイドラインによる発がん性試験報告はない。以上、ACGIHは本物質の発がん性をA4に分類しており、本評価においても本項はデータ不足のため「分類できない」とした。

生殖毒性

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

本物質は気道刺激性があるとの報告がある (ACGIH (7th, 2003)、DFGOT vol. 2 (1991)、HSDB (2015)) が、その他の急性影響は報告されていない。

以上より、「区分3 (気道刺激性)」とした。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

ヒトにおいて、職業ばく露によるヒューム熱の報告があるが本物質による単独影響と判断するには、当該工場でのばく露評価が不十分と記載されている (ACGIH (7th, 2003))。

実験動物による有用な情報はない。したがって、「分類できない」とした。

誤えん有害性

データ不足のため分類できない。

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期 (急性) データ不足のため分類できない。

水生環境有害性 長期 (慢性) データ不足のため分類できない。

オゾン層への有害性 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

残留性・分解性 データなし

生態蓄積性 データなし

土壌中の移動性 データなし

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規則

国連番号	該当しない
品名（国連輸送名）	該当しない
国連分類（輸送における危険有害性クラス）	該当しない
副次危険	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
MARPOL73/78附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質	該当しない

### 国内規制

陸上規制情報	該当しない
海上規制情報	該当しない
航空規制情報	該当しない
特別な安全上の対策	該当しない
その他（一般的）注意	化学品を扱う場合の一般的な注意として、輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
緊急時応急措置指針番号	該当しない

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険有害物（ $\geq 1\%$ ） 名称等を通知すべき危険有害物（ $\geq 1\%$ ）
---------	--

## 16. その他の情報

この安全データシートは、いくつかの安全データシートの情報を参考にしたものですが、すべての資料や文献を調査したわけではないため、情報に漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定などにご利用される場合は、別途、資料や文献を調査し検討されるか、試験によって確かめることをお勧めします。なお、物理化学的性質などの数値は保証値ではありません。また、注意事項は、通常の手扱いを想定しており、特殊な手扱いの場合には、別途注意が必要になることをご配慮ください。

### <引用文献>

- 厚生労働省 職場のあんぜんサイト：モデルSDS「酸化マグネシウム」2015年11月30日作成版

- 独立行政法人製品評価技術基盤機構：化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP）
- 独立行政法人製品評価技術基盤機構：政府によるGHS分類結果「酸化マグネシウム」、物質ID：H27-A-007/C-007A\_P（平成27年度分類）
- 独立行政法人製品評価技術基盤機構：NITE統合版GHS分類結果「酸化マグネシウム」、物質ID：m-nite-1309-48-4\_v1（平成27年度分類）
- 17322 の化学商品（2022年版）：化学工業日報社